

作成日 2023年 7月 20日  
(最終更新日 2023年 7月 20日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2023-1-698

課題名 : 非定型大腿骨骨折の治療成績に関する多施設共同症例集積研究

### 1. 研究の対象

2017年4月～2023年3月に当院で非定型大腿骨骨折の手術を受けられた方

### 2. 研究期間

(研究実施許可日)～2028年3月

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2023年12月1日

提供開始予定日 : 該当なし

### 4. 研究目的

非定型大腿骨骨折とは、大腿骨に発症する特殊な骨折であり、発症原因として骨粗鬆症治療薬やステロイド剤など特定の薬の長期服用や、加齢に伴う骨の弯曲変形などが考えられています。通常、大腿骨骨折に対する治療は、金属による固定手術を行いますが、この非定型大腿骨骨折の場合、同様の手術を行っても典型的な大腿骨骨折に比べて骨癒合が得られにくいことが多いと報告されています。しかし、現時点では有効な手術方法は確立されていません。この研究の目的は、過去の手術方法と治療成績を検討し、有効な手術方法を確立することです。

### 5. 研究方法

東北大学病院および関連施設で手術治療を受けられた患者さんの診療データやレントゲン画像を使用し、解析します

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 病歴、治療歴、特定の薬の服薬歴、血液検査データ、骨密度、単純X線画像、手術記録 等

### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 8. 研究組織

主研究施設 : 東北大学病院整形外科 研究責任者 菅谷岳広

既存試料・情報の提供のみを行う機関 :

仙台市立病院 小暮敦史 ほか

東北大学整形外科関連施設

### 9. 利益相反 (企業等との利害関係) について

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院整形外科 菅谷 岳広

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7245

[Takehiro.sugaya.e7@tohoku.ac.jp](mailto:Takehiro.sugaya.e7@tohoku.ac.jp)

当院の研究責任者：東北大学病院整形外科 菅谷 岳広

研究代表者：東北大学病院整形外科 菅谷 岳広

## ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

## ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合